

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	杉の子園		
○保護者評価実施期間	R6年10月11日		～ R6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R6年11月2日		～ R6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	R6年10月11日		～ R6年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	R6年12月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人が委託・指定管理している児童発達支援センター間で担当者が集まり研修会や情報交換を行う、実務担当者会議を行っている。	・実務担当者会議内で専門職による研修会を実施することで、担当職員の資質の向上に繋がっている。	・家族支援として杉の子園が実施している保護者向け勉強会へ参加する機会を作る。
2	・パンフレットを作成し、広報活動を行っている。	・訪問支援でお伺いしている園へパンフレットの配布をして、制度の説明とご理解とご協力をお願いしている。	・訪問していない幼稚園・保育園等にパンフレットを配布し、制度のご理解に努める。
3	・利用者の増加に伴い担当職員(指導と訪問の兼務)を増加した。	・職員体制上専任の訪問員の配置が難しいが、兼務として訪問員を増やすことで、保護者のニーズに対応している。	・担当職員でのケース会議の充実を図り、職員の資質の向上に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家庭支援プログラムのペアレントトレーニングとしては、実施していない。	・施設内にペアレントトレーニングの研修を行える職員がいない。	・研修担当の育成やそれに代わる保護者向けの研修会を実施する。
2	・お子さんによっては、ニーズを聞くことが難しい現状がある。	・保護者のニーズがあって訪問支援を行っているが、お子さんが希望していないケースもある。保護者によっては、訪問していることをお子さんに知られずに見て欲しい等のニーズがあるため、聞いていない。	・お子さんに聞けるケースは聞いていく。
3	・職員体制の問題で、訪問に出られる日に限りがあり、調整が難しい。	・職員体制の関係で保育所等訪問支援で1名専任として配置できないことが要因。	・法人として考えなければならず、園だけの考えでは解決は難しい。現時点では、兼務職員を増やしていくことで対応している。

事業所名 杉の子園

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 20 令和6年 10月 31日

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7			4		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	11					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	11					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				1	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11				幼稚園の担任の先生と連絡をとって下さり、とてもスムーズでした。	ありがとうございます。今後も訪問先の先生と連絡を取り合い、協力体制を築いていきたいと思っています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	11					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	11						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	11				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			4	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10			1	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			3	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11				
	28	事業所の支援に満足していますか。	11				希望の時期にとても丁寧に見て下さり、ありがとうございます。今後も訪問先と調整をしながら、ご希望の時期に訪問できるように努めていきます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和7年 2月 1日

杉の子園

利用児童数 16 令和6年 10月 31日 回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	15	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的でわかりやすいのですが、園で取り入れにくいものも感じます</li> <li>・園の保育方針や保育計画によってはむずかしい場面もありますが、できる範囲で取り入れるようにしている。</li> <li>・園での対応を尊重して下さりながらも新たな助言を下さっている。</li> <li>・具体的に行動に対する働きかけ方を助言頂いています。</li> <li>・とてもわかりやすく、今後にかせるものでした。</li> <li>・園児の特性をよく理解されているので、分かりやすいです。</li> <li>・家庭で取り入れて欲しい事だけではなく、園でも取り入れられる活動、遊びを具体的に教えていただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。園の保育方針や環境設定など、訪問員のアドバイスの通りに行くことは、実際の場面で難しいこともあるかと思います。説明が足りず申し訳ありませんでした。訪問させていただき、実際の場面を見せていただくことで、その中で支援できることを伝えられるように努めておりますが、手立てが複数考えられる場合には、どの方法が一番良いのか、取り組んでみてわかることもあり、方法として現実には難しくてもお伝えする場合があります。</li> <li>・ありがとうございます。今後ともできる限りの支援方法をお伝えし、一緒に考え、より良い支援に繋げられるように努めていきます。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16			<ul style="list-style-type: none"> <li>・多方面から見て頂き、その子に合った支援の仕方を伝えてくれる。本児に対してよく見て頂いていると思いますが、園生活で取り入れにくいものも感じます。</li> <li>・訪問時に子どもにできるだけ影響がないようにしながらも、細かく子どもの姿を捉えてくれています。</li> <li>・こちらのふと疑問に思っ質問した事にも丁寧に対応法など教えていただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。園生活では取り入れにくいアドバイスがあり、申し訳ありませんでした。その園でできる手立ては何かを、常に考えながら訪問させて頂いておりますが、情報としてこういう支援方法があるということもお伝えしています。</li> <li>・ありがとうございます。今後も訪問先の園と情報共有しながら、より良い支援に繋げられるよう、努めていきます。</li> </ul>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児と保護者の関わりをくわしく聞くことができよかったです。</li> <li>・一緒に考えながら対応して下さっている。</li> <li>・質問に対して、一緒に考えたり共感してくれています。</li> <li>・園内での本児の様子を見てもらい、その都度お話しすることもできたので良かった。</li> <li>・自分が気づけていないところや深い意図・意味まで教えていただき、自分の知識も広がりました。</li> <li>・貴園での児童の様子などその子の情報を共有、交換できて良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。訪問後のカンファレンスは、訪問先と調整し、当日に難しい場合は後日で、あまり日にちが開かないように設定して頂いております。状況によって、面談・電話・インターネット等その時に合わせて行っております。お忙しい中お時間をいただきありがとうございます。</li> </ul>

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の気持ちを尊重しながらも、友だちとのトラブル時には互いに納得できるような援助が難しいと感じます。</li> <li>・保護者の方とも共有することができ軽減されている。</li> <li>・助言して頂いたことを実践し良い方向へ向かうことができています。</li> <li>・課題を見つけることができたり、現状を維持することも大事だと分かり、安心しました。</li> <li>・保護者の意見も聞くことができるので、大変助かります。</li> <li>・普段から関わり方は意識していましたが、支援を利用させていただき、より良い関わり方が知れ良かったです。</li> <li>・保護者との連携も密になったように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。トラブルの中でもお友だちとの関わりは、解決の難しさは感じております。双方が納得して解決できれば良いのですが、言葉で伝えることが難しいお子さんもいます。大人が代弁し相手の気持ちにどこまで寄り添えるかなど、伝え方によっては相手が納得しない場合もあります。訪問員と訪問先の先生と情報共有しながら一緒に考えていきたいと思っております。</li> </ul>
5	事業所からの支援に満足していますか。	14	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的に見てもらえることで、たくさんさんの情報を得ることができています。</li> <li>・後日電話にてカンファレンスを行っていただけただけなので良かったです。</li> <li>・大変満足しています。</li> <li>・当日の話や電話でのフィードバックとても助かっています。今後ともよろしくお願ひいたします。</li> <li>・行事等で訪問支援の日程調整は必要だが、アドバイス等を参考にさせてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。今後も情報共有しながら、園生活でお子さんが過ごしやすい方法をお伝えできるよう、努めていきます。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>				<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の様子（杉の子園）を聞くことができ良かった。保護者の本児への関わりや対応などもわかり園でも共有していき、本児への新たな課題を見つけることができた。</li> <li>・園の様子を見て頂き、支援の仕方を考え、共有できることや、保護者の方にも園での様子を伝えて頂くことで、その子に合った支援の仕方を理解し共有して頂いていると感じております。子どもが無理なく伸び伸びと園生活の中で自分を表現し、楽しんでいけるよう、今後も連携して頂きたいと思っております。よろしくお願ひいたします。</li> <li>・いつもありがとうございます。これからも共に協力して、子どもたちのために尽力したいと思います。よろしくお願ひいたします。</li> <li>・お世話になっております。今後もよろしくお願ひいたします。</li> <li>・いつもありがとうございます。今後もよろしくお願ひいたします。</li> <li>・一緒に成長を感じることができたり、課題に対して多くの助言をいただくことができ、日頃の保育に活かすことができている。幼稚園なので、療育のようにはいかないこともありますが、今後も情報を共有していけたら幸いです。</li> <li>・この度は、訪問支援ありがとうございました。訪問員が来てくださったことで本児に安心して普段通りの様子で活動することができその様子も見て頂けて良かったです。前回3月に見て頂いた時から成長している部分を伝えてもらったことと、今の本人に必要な援助の仕方や支援などくわしく教えていただけたので良かったです。</li> <li>・訪問支援をして頂くことで、園での様子、今後についてなど、意見交換や相談ができるので、とても良かったと思います。共通理解を深め、子どもの育ちに寄り添っているのので、今後も機会がありましたらお願ひしたいなと感じました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんのご意見をいただきありがとうございます。訪問員のやる気に繋がる温かい言葉は励みになります。また、お忙しい中訪問時に温かく受け入れて下さり、感謝しております。保育所等訪問支援事業は、保護者からの要望があって実施できる事業です。保護者のお話を伺うと、「園でどのように過ごしているか知りたい」というご希望が多く聞かれます。保護者から離れ集団生活を送ることは、お子さんにとっても保護者にとっても心配は尽きないと思います。報告を聞いて安心する方もいれば、今後どのように対応したら良いのか悩む方もいらっしゃると思います。その子にとってどの手立てが一番わかりやすく、行動しやすいかは、実際に訪問させていただき、園の様子を見ることでより良い手立てが見つかります。訪問先の先生方と情報共有し、先生方のお力を借りつつ、訪問員も日々学びの姿勢を忘れず成長していけるよう努めていきます。今後ともよろしくお願ひいたします。</li> </ul>	

・訪問支援中の支援員さんからの助言や丁寧なカンファレンスなど具体的でとても分かりやすいです。カンファレンス後の資料内容をいかして、その後の保育に役立てることができています。

・本児を1歳ごろから担任して、幼稚園に送り出した支援員の方でしたので、今の園生活をみてつながりをもった話をするのができたと感じています。園での困りごとを支援員さんも感じて共有できたので、今後の本児との関わりにかし少しでも改善に向かえばいいと思うので、連携をとる大切さも感じました。後日電話では丁寧に場面ごとに振り返って下さり担任の私達とは違った客観的な感想やご意見を伺えました。私たちは試行錯誤しながらの毎日ですが「先生との信頼関係ができて、入園してからの時間でできることが増えたと思う」という言葉をいただき、とても嬉しかったです。課題はありますが、本児にとっても周りの子どもにとっても、より良い環境設定ができるように努めていきたいと思えます。本児自信も「できた!」「嬉しい!」を感じる場面が少しずつ増えてきている所なので、その体験が積み重ねられるように、引き続き援助していきたいと思えます。これからも情報共有やアドバイスをさせていただきたいです。園外の方から、それも入園前施設の担任の方が見て助言頂き、担任はありがたく、4月からの保育が彼の中に流れて、育ちを改めて気づくことが出来たようです。本児を1歳時からのつながりから見・集団の中から見・環境から見・保護者と共有する・支援施設の方と共有するなど、続けていくことは、本児の家族・園・支援施設・担任にとって、とても良い連携と感じます。保護者の方が支援施設に相談して下さり、この機会を設けられたことを感謝いたします。引き続きよろしく願いいたします。貴重な時間をありがとうございました。

・いつも子どものことを丁寧に見てくれて、保護者が思っていることも伝えてくれるので、大変ありがたく思っています。保育園だけでは難しいこともあるのでこうして相談にのっていただいたり保護者との関わりをもっていただき大変ありがたいと思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

・継続的にひとりのお子さんの育ちや、配慮する点援助が必要な部分等を共有できることはありがたいと思っている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		杉の子園		公表日		令和7年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 運営・ 体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な配置数が分かりませんが、前年度より増員されました。</li> <li>一人の職員にケースが偏ってしまっている現状はある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問支援員は専属の配置ではないため、指導と兼務になってしまう。一人のケース数は仕事の配分量によって偏りは生じてしまう。今後保護者のニーズが増加した場合、専属の訪問員の配置が必要になる。</li> </ul>	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先の職員との検討機会が持ていない現状ですが、カンファレンスの際に先方のご意向を伺うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所等訪問支援計画の作成する時期に、一緒に検討することは難しいが、カンファレンス時に訪問先の担任等の意向は伺っているため、支援計画に反映されている。保育所等支援計画作成後、訪問先にも支援内容を伝えることを検討していく。</li> </ul>	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化されたアセスメントの使用はなく、行動観察がメインである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化されたツールは使用していない為、今後使用していく場合には、実務担当者会等で様式の作成が必要。</li> </ul>	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームで訪問する機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員体制の関係で、複数で園を開けることが難しいため、一人で訪問を行っている。職員体制を整えて複数で訪問に行けるようにしていく。</li> </ul>	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4				

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	・連携が密である療育センターや専門職からの情報提供を保護者に伝えることや、実務担当者会議で関係する情報を積極的に収集する。	・ペアレントトレーニングの研修を行える職員がいない為、現時点では難しい。外部に依頼して実施することは可能だが、研修を行えるように研修会に参加するなど職員の育成に努める。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・子どものニーズは聞いていない。	・保護者のニーズがあつて訪問支援を行っているが、お子さんが希望していないケースもある。保護者によっては訪問していることをお子さんに知られずに見て欲しい等のニーズがあるため聞いていない。本児に確認できるようであれば聞いていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	・パンフレットの作成・配布を行った。	・SNSを活用した広報活動を行っていく。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			